

2013年度（平成25年度）事業計画

（2013年4月1日～2014年3月31日）

1964年に創設されたアジア調査会は来年、50周年を迎えます。また、1989年に毎日新聞社と共同で創設した「アジア・太平洋賞」が今年、第25回の節目を迎えます。毎日新聞社が吉田茂元首相を会長にアジア調査会を創立した時は、まだ大陸中国の実情を政府レベルで知ることができず、民間のシンクタンクが中国やアジアの定点観測をすることが非常に重要な時代でした。それが1972年の日中国交正常化、78年の日中平和友好条約締結で大きく変化。中国は鄧小平の改革開放を経て、今や世界第2の経済大国になり、その軍事予算の膨張や海洋積極進出で周辺諸国を脅かすまでに至っています。

アジア調査会はこの50年、こうした中国の変化を中心にアジア・太平洋諸国の政治・経済・外交・学術・文化などを見続け、アジア諸国の発展や、日本との交流強化に寄与してきました。

今年度は来年度に行う予定のアジア調査会創立50周年記念行事の具体像を確定し、その準備に入ります。また、ご協賛企業の協力を得ながら、「第25回アジア・太平洋賞」を成功させます。

(1) 講演会・シンポジウム

東京で6回、静岡県で1回開催する予定です。講演内容は「アジア時報」に掲載します。シンポジウムも1回開催します。

(2) 調査・研究

◇アジア研究委員会

委員会を年4回開催し、委員による研究発表を計画しております。発表内容は「アジア時報」に掲載します。長年、委員長を務められた中嶋嶺雄・国際教養大学学長の急逝に伴い、猪口孝・新潟県立大学学長に後任の委員長を委嘱いたしました。

(3) 出版

月刊情報誌「アジア時報」を年10回発行します。

(4) 事業

『アジア・太平洋賞』は今年度で第25回を迎えます。第23回からスルガ銀行の特別協賛をいただき、学界、出版界などの評価は高まっております。節目の今年度を成功裏に執り行います。また『毎日講演センター』の講師斡旋事業を継続して行います。